

糸我小学校だより

令和6年12月24日



冬休みの行事と大切な家族との時間

二学期がもうすぐ終わろうとしています。子供たちは、児童会目標や学級目標、個人目標を達成するために、よく頑張りました。今学期もまた、運動会や音楽会、地域学習などの行事をとおして、見聞を広め、自分の役割を果たすことや友達と協力することの大切さ、地域の方々の想いの深さを学ぶことができました。

さて、年末は新年を迎える大切な時期であり忙しい時期でもあります。年末といえば、大掃除や片付けがあります。これは、一年の終わりにきれいにして新年を迎えたいという昔からの風習です。他にも年末・年始ならではのことがあります。

ぜひ、昔から受け継がれている新年を迎えるための準備等を、子供たちにも体験させたり教えてあげたりしてほしいと思います。

また、年末・年始は、親戚の方が集まり賑やかになりますが、そんな中でも、ご家族みんなでゆっくりする時間をつくっていただき、お子様と新年の抱負などを話し合うなど、家族の会話を楽しんでほしいと思います。



自分自身との闘い、校内持久走記録会

12月6日(金)は校内持久走記録会を実施しました。距離を決めてタイムを測るのではなく、時間を決めてどれだけの距離を走れるのか記録をとります。時間は、低学年3分、中学年は4分、高学年は6分間です。また、記録会は、人とタイムを競い合うのではなく、自分がどれだけ距離を伸ばせるか挑戦する、自分自身との闘いです。

これまで、子供たちは、体育朝礼や休憩時間を使って、練習を重ねてきました。練習には、マラソンカードを使います。1周走る毎にマス塗っていき、糸我の町を一周するというもの(右下の画像)です。カード1枚を終えるには低学年でトラックを100周、高学年で200周しなければなりません。カードを終える毎に児童玄関に掲示していきました。約半数の児童が制覇し、多い子で400週走ることができました。

そして、記録会当日、今までの練習でつかんだ自分のペースを思いだしながら一生懸命走っていました。低学年は何周走ったかを高学年のお兄さんやお姉さんに教えてもらいました。高学年が走るときは低学年の子供たちは、お世話になったお返しと言わんばかりに、一生懸命応援していました。ここでも縦の異学年のつながりが見られました。

長く走ることは、とても面倒でしんどいことです。でも、走り終えた達成感や充実感を忘れないで、これからも走ることを楽しんでほしいと思います。



6年生、有和中学校で1日過ごす ～有田市内6年生交流イベントと中学校体験～

12月12日（木）に、有田市教育委員会の主催で、有田市内7校の6年生が有和中学校に集まり交流イベントが行われました。

交流イベントでは、7校の児童混合の10チームで、障害物リレー（玉入れ、ミニハードル、ケンケン跳び）、借り物競走（クジに書かれているものを借りてくる）、フリースロー対決（5分間で何回バスケットゴールに入れられるのかを競う）を行いました。どの競技も初めて会う他校の児童と、協力しあったり応援し合ったりして、交流の時間を楽しみました。

午後の中学校体験では、有和中学校の校長先生・教頭先生から中学校について教えてもらったり、施設の説明や授業風景を見学したり、クラブ活動を体験したりしました。

6年生の子供たちにとって、中学校進学に向けて心の準備ができる良い機会になりました。

楽しかった、焼きいもパーティー（1・2年生）

12月20日（金）、いつもお世話になっている、糸我在住の大浦秀明さんに来ていただき、1・2年生が焼きいもパーティーをしました。子供たちが作ったさつまいもを使って焼きいもです。大浦秀明さんが、公民館で借りてきてくださったかまどに、薪を焚いていきます。薪が燃え、炭になってきた頃に、ぬれた新聞とアルミホイルで包んださつまいもをかまどに入れます。後は、できあがるのを待つだけです。子供たちは焼きいもの歌をみんなで歌ったりして、できあがるのを待っていました。できたての焼きいもを、子供たちは、うれしそうな笑顔で食べていました。

一昔前には、落ち葉で焼きいもをしているお家も見かけることができました。しかし、最近では、こうした風景を見ることがなくなってきました。今回、大浦秀明さんのおかげで、子供たちは良い体験ができたと思います。きっと、焼きいもをみんなで食べた思い出は忘れないでしょう。お忙しい中にもかかわらず、ご協力くださり、ありがとうございました。

